

## 令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

### 1. 使用状況

寄贈物品名	ジャングルジム
使用学年及び人数	小学部1～6年   104人
使用頻度	毎日
使用状況	<p>主に昼休み(13:20～13:40)の外遊びの時間に、活用している。各学年常時、5、6人の児童がジャングルジムの頂上を目指して登ることを楽しんでいる。</p> <p>基本的に自分から頂上を目指して両手足を使って登っている。上では、座ったり、教師に手を振ったりする児童もいる。また、高い場所からの景色を楽しんでいる児童もいる。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>身体を上手に使ってジャングルジムの一番上を目指したり、工夫して降りたりして遊んでいる。はじめは体の動かし方がわからず上まで登れなかったり、降りられなかったりした子どもが、徐々に手足を巧妙に動かすようになってきた。</p> <p>また、空を見上げながら、天気や季節について教師や友達と話すなど、情操教育にも役立っている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>手指の巧緻性を高める自立課題(握る、体重を支えるなど)として活用できる。</p> <p>また、上まで登れない児童がいるため、教師が手足を補助しながら、少しでも高く登って、高いところから見る景色や、登れた達成感を味わってほしい。</p>
その他希望や所感など	<p>今回寄付いただいたジャングルジムは、子どもたちの教育効果を高める教材として、たいへん高い価値があると考えている。</p> <p>今後も、継続的に御支援を賜りたい。</p>

## 2. 活用の様子

